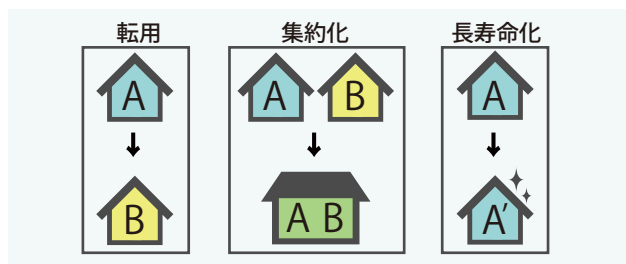


じゃあどうしていくのがいいのかな。

「津市公共施設等総合管理計画」では、必要な機能は残しながら施設を減らしたり、今ある施設を使ったりして、施設整備や管理運営にかかる費用を抑えていくことを目指しているよ。施設を別の機能に活用する「転用」、機能をまとめる「集約化」、施設を改修して寿命を延ばす「長寿命化」などを進めていく実施方針を打ち出しているんだ。



なるほど、将来を見通した公共施設の再編・再整備も必要なんだね。それと最近は時代の変化に応じて環境や人にとって優しいものにしないといけないよね。

そうだね。新しく施設を建てるわけじゃないけど、今ある施設を時代に合わせてより良くしていくことも必要になってくるんだ。

例えば最近は、環境に優しい太陽光発電設備やLED照明設備、多目的トイレを設置したり、新型コロナウイルス感染症対策としてエアコンを交換したりしてきたよ。

また、それぞれの施設について具体的に何をどうするかは、令和2年度に作った「津市個別施設計画」にまとめているよ。この計画に基づく改修には「公共施設等適正管理推進事業債」という有利な財源が活用できるよう、国も後押ししてくれているんだ。



津市個別施設計画

実際に転用した施設って具体的にどんなものがあるの？

例えば、高野尾小学校の校舎の中にあった旧高野尾幼稚園があるよ。令和3年度いっぱい閉園になったんだけど、その後、園舎を小学校に転用してその一部は放課後子供教室として活用しているよ。



高野尾地区放課後子供教室

他にも、閉校した学校を地域の人たちの活動の場所として使ってもらっているんだけど、今後さらに発展した活用ができないか検討していくよ。

小学生のための放課後の居場所づくりが小学校の中でできるのは、離れたところまで行くよりも便利だし安心で良いよね。じゃあ集約化した施設はどんなものがあるの？

例えば、複数の幼稚園と保育園の機能が一緒になってできた津みどりの森こども園があるよ。

元々の幼稚園はどうなったの？

いい質問だね。この地域では公民館や会館の老朽化の課題もあったんだけど、旧修成幼稚園は改修して新たな橋南公民館に転用、旧新町幼稚園は解体して跡地に新たな新町会館を整備することで解決したよ。

最終的に、元々の橋南公民館や新町会館は売却したんだ。



それなら施設を建てる費用を節約できるし、一石二鳥だね。売って得られた代金は施設を直す財源として活用できそうだね。

じゃあ長寿命化した施設はどんなものがあるの？

例えば、小学校や中学校は、合計68校の半数以上が建ててから30年を超えているんだけど、全学校で耐震化を完了した後、平成24年度からは合計9校の大規模改造を行って、令和3年度からは1年3校程度のペースで校舎の長寿命化改修を進めているところだよ。



一志学校給食センター

他にも三重短期大学では、公共施設等適正管理推進事業債を活用して改修を進めているし、建物や調理設備が古くなっている一志学校給食センターも、長寿命化するために改修を行っているところだよ。

建て替えをしなくても、工夫をすることで必要な機能を実現できるし、限られた財源でより多くの施設を便利で快適にできるという考え方もできそうだね。それに、中身を新しくしながら古い建物を使い続けるのは、環境にも良いことだよ。

そうだよ。津市はこれからも時代の変化に合わせて、将来に向けて持続可能な公共施設の最適化に取り組んでいくよ。